ご挨拶

本日は「雅楽を知ろう」にお越しくださいまして、誠にありがとうございます。

大阪国際学園では「芸術文化教育センター」を設置し、学園内の芸術文化教育にとどまらず、地域の芸術文化、さらには地域の学校における芸術教育に貢献することを目的として活動しております。

「国際」の名前を冠する本学園といたしまして、グローバルな視点で物事を考え行動する人材の育成を目ざしていますが、真の国際人とは日本の芸術文化を理解し語れる人材ではないかと考えており、茶道・華道をはじめとした日本の伝統的な文化を学ぶことを積極的に推し進めております。その一つとして2019年の学園創立90周年記念式典において、本学園の生徒たちが素晴らしい雅楽の演奏を披露し、学内外にその姿勢を示したところでございます。

この度、「雅楽を知ろう」を開催するにあたり、今日、おいでくださった地域の皆様、また、外国の方々が雅楽の魅力を味わってくださることを心から願っております。

大阪国際学園 芸術文化教育センター
センター長
朝倉 洋
（大阪国際学園　吹奏楽部総監督）

プログラム

講演：中原 詳人

演奏：龍笛 / 中原 詳人　　篳篥 / 多田 真円　　鳳笙 / 塩田 隆志

曲目：平調「越天楽」（ひょうじょう　えてんらく）

舞楽「蘇莫者」（ぶがく　そまくしゃ）

プロフィール

中原 詳人（なかはら　よしひと）

1963年生まれ、大阪市出身。1988年より雅楽をはじめ、2004年から雅楽団体に所属。寺社での奉納、各種行事には主に龍笛奏者として参仕している。2016年から近鉄文化サロン阿倍野・雅楽講座講師。座右の銘は「天空海闊」。

多田 真円（ただ　しんえん）

1971年生まれ、大阪市出身。1998年より雅楽をはじめ、2002年から雅楽団体に所属。寺社での奉納、各種行事には篳篥奏者、舞楽舞人として参仕し、後継者育成の指導にも従事している。また長男にも童舞を習得させ、親子で参仕している。

塩田 隆志（しおた　たかし）

1973年生まれ、大阪市出身。2003年より雅楽をはじめ、2008年から雅楽団体に所属。寺社での奉納、各種行事には鳳笙奏者、打楽器奏者として参仕し、後継者育成の指導にも従事している。「和を大事に全てを包み込むような雅楽」がモットー。

曲目解説

平調（ひょうじょう）「越天楽（えてんらく）」

「越天楽」は、最も有名な雅楽曲です。舞はすたれて、曲だけが日本に伝わったと言われています。「越天楽」に歌詞をつけたものに『越天楽今様（えてんらくいまよう）』があり、最も有名なものが、日本の民謡『黒田節（くろだぶし）』です。「越天楽」は、日本では結婚式などで演奏されることが多くあります。

舞楽（ぶがく）「蘇莫者（そまくしゃ）」

聖徳太子（574年～622年）が愛馬に乗って大和川を渡る時に横笛を吹いたら、老猿に姿を変えた「信貴山の神」が現れ、笛の音に合わせて舞い踊った。その様子を音楽を担当する役人（伶人 / れいじん）に作らせた舞楽であると言われています。